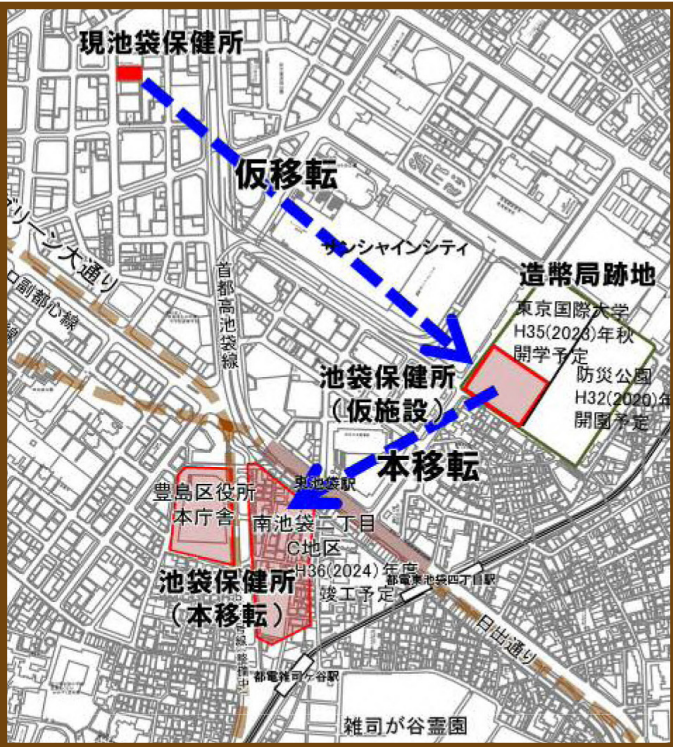


池袋保健所の売却と2度の移転

企業に売却するために2度も移転させる税金のムダ遣い



池袋保健所とアニメイト (右)



豊島区は、区民センターの隣にある築20年しか経っていない池袋保健所を解体して売却し、来年15億円かけて造幣局跡地に仮移転し、2024年に南池袋二丁目C地区に完成が予定されている再開発ビルに30億円前後をかけて本移転する計画を進めています。売却の理由は設備更新・改修に今後10年で約20億円かかること、隣接するハレザ池袋が完成すれば周辺が混雑し、人と人同士が接触転倒する事故の危険性が増大するからというものです。

昨年9月、議会に報告されて以来、私は一貫して反対しています。築50年以上経つ小中学校が15校もあるのに、まだ新しい保健所を解体して売却するなど許されません。

▼いまだに契約は交わされず

と入居契約さえ交わしておらず合意を得ていないことが明らかになりました。法的に移転の根拠が担保されておらず相手から移転を拒否されるなどすれば計画が破綻します。

▼ハレザ池袋は来街者のまち

のまちづくりであって、区民のためではないことが明確になりました。

まちづくりは区民誰もが安心して楽しめなければなりません。保健所は最小限の費用をかけて改修すべきです。

▼大企業を儲けさせる計画

豊島区は「保健所跡地を購入する企業が利益を上げることとは当然」と言い放ちます。大企業のために2度も移転費用をかけ税金をムダ遣いし、池袋一等地の区民の財産の土地を差し出す計画など認められません。

日本共産党 区議会議員

森 とおる

区役所控室 3981-1429

自宅 6912-0135

2018年 7月 25日発行

